

令和 7 年度第 3 回下松警察署協議会会議録

開催日時		令和 8 年 2 月 1 2 日（木） 午後 3 時 3 0 分から午後 5 時までの間
開催場所		下松警察署 3 階 講堂
出席者	委員	内富委員、笠谷委員、片山委員、武居委員、爲國委員、 山根委員 計 6 人
	警察署	署長、次長、警務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備課長 計 9 人
議題		1 業務説明 2 協議 大規模自然災害に備えた諸対策の推進
1 会長挨拶 昨年 7 月 2 2 日に第一回目の警察署協議会、1 1 月 2 1 日に第二回目の警察署協議会が開催されたが、この協議会に入ってから新聞やニュースを見ると警察関連のニュースが頭に入ってくるようになった。 新周南新聞を見ると、事件事故が載っているが、周南署、下松署が詐欺事件の被疑者を捕まえたという記事を見て、安心して過ごしているところである。 今日は 3 回目の協議会で、難しい自然災害をテーマに諮問していただく。 皆さんには忌憚のないご意見をいただいて、会議がスムーズに進行するようにお願いしたいと思う。 簡単ではあるが挨拶に代えさせていただく。 2 署長挨拶 ※省略 3 業務説明 業務説明資料を示して内容を説明した。 (1) 刑法犯認知状況 (2) 特殊詐欺等認知状況 (3) ストーカー・DV 事案認知状況 (4) 児童虐待事案認知状況		

- (5) 非行少年検挙・補導状況
- (6) 110番と警察署通報の受理状況
- (7) 交通事故発生状況
- (8) 交通事故抑止対策の推進
- (9) 警察安全相談受理状況
- (10) 前回協議会以降に発生した主な事案

4 前回協議会における諮問内容等に関する回答（交通課長） （省略）

5 諮問事項 大規模自然災害に備えた諸対策の推進

6 協議 （委員）

小学生等の登下校時に災害が発生した場合を想定して訓練をしてはどうかと学校に話したことがあるが、このような訓練を警察の方と一緒にできたらいいと思う。

災害発生時、学校にいと先生方がどうにかして対応するが、子供達が1人や2、3人になる登下校時に災害が発生した場合、どう対応していいか子供達はわからないと思うため、そのような訓練ができたらいいと思う。

例えば、警察の方と登下校をしたり、登下校時の災害別対処方法や周囲の物が崩れてきた場合の自分の身を守る方法など教えていただければと思う。

（警備課長）

小学校での防災教室などは実施しており、学校にいた場合の対処法を中心に行っているが、併せて、建物の中にいた時に地震が発生した場合の対処や建物の外にいた時、何もない場所で地震が発生したら津波が来る可能性があるため、高い所に逃げるように話はしている。

確かに登下校時に特化した訓練というのは行っていない。

（委員）

警察の方と一緒に帰り、危険箇所を教えてもらうなどしながら集団下校できたらよい。

（警備課長）

学校の協力がないと難しいが、学校等が主体でやっていただき、それに警察が参加するという形であれば可能だと思う。

（委員）

今、下松市で自治会が274団体あり、106の自治会が防災会という組織を作っていたが、今は37の防災会しか残っていない。

地域の住民が参加しようと考えないと、消防・警察・自衛隊の方から意見を出しても難しいと思う。

下松市は災害が少ないため市民はのんびりしているが、もし大きな災害が発生すれば対応できないと思う。

私は、自衛隊時代、宮城県に生活支援の応援で災害派遣された。

道路がない状態で現地まで移動し、1週間現地に滞在したが、帰りは道路がある程度片付いていた。

地域住民もどうしていいかわからない状態で、町役場の人は大変だったと思う。

訓練は行った方がよいと思うが、住民の方が、災害が発生した時の為に集まって何かしようという意識がないと、警察がどれだけ動いても難しいと思う。

(委員)

去年の山口県の統計だが、災害を恐れている人は80%いるのに対し、実際に訓練に参加した人は10%だった。

防災訓練等のサポーター関係はよくやっているが難しいというのが現状だ。

(委員)

防災士も私含めて304名おり、自主防災組織を作ってやっているが、訓練等をするというのはなかなか難しい状況である。

(委員)

米川でも訓練をする話になっているが、米川に津波は来ないし、災害が起きても山が崩れるくらいだ。

統計をとったら、下松市は南海トラフが来たら、死者は5、6人程度と聞いている。

(警備課長)

今、オープンになっているのは、10年前の情報であり想定では死者0人である。

しかし、今年の春の見直しで国からの資料が出る見込みで、それを見ると今よりは被害想定が大きくなると思われる。

(委員)

柳井の辺りになると死亡者が増えると思われるがいかがか。

(警備課長)

周南ブロック自体に死傷者が増える見込みである。

(委員)

説明を聞き、本当に危険な場所で前線に対応していただいていることや、訓練も普段からしていただいているというのがよくわかった。

今の話に関連するが、災害の時など「自助・共助・公助」に加え「近助」という言葉を言われており、今地域のコミュニティが大事になってきているということで、そこに警察の方も入っていただいて、地域の行事にも参加していただき地域の方々と接する機会をもっていただけるとありがたい。

(委員)

私もよくやっていただいていると思う。

機会がないとなかなか日々の防災を振り返れないという悲しいところがあるので、ほかの地域に雨が降る、地震が発生するという時に見直していくことが必要だと思う。

それと、下松警察署はマスコミに色々PRを投げかけているので、今されている活動もオープンにしていると思うが、マスコミを上手に使う意識の高揚を図るのがいいのではと思う。

(警備課長)

当警察署で実施した小規模の訓練は報道等をしていないが、周南ブロックで行った合同訓練は報道に来ていただき、ニュース番組で取り上げてもらっている。

大規模な訓練は、報道を活用した広報をさせていただいている。

(委員)

毎回地域を順番に回って関係機関と一体となり防災訓練をやっていただいていると思うので、そういう機会を住民の方々が上手く活用していけたらよいと思う。

それと、防災メールが発信されており、その登録者数を増やすことを市でも実施されているが、なかなか増えないという状況なので、そういうところに関心を持っていただく必要があると思う。

また、防災メールを見ていただき、今どのような警報が出ているかなどを認識する習慣をつけ、個人個人が意識してもらうことが大切だと思う。

(委員)

去年市長と7か所くらい地域を歩いていたが、防災について心配して意見が出た所が花岡公民館、星ランド、米川公民館であった。

花岡公民館で心配していたのが、個人情報の問題であった。

星ランドは、自助・公助の言葉が出てから意見も出たし、米川は土砂災害のことしか出なかった。

(委員)

最近の大災害では、山火事があった。

(委員)

周南市でも以前、島が火事になったというニュースがあった。

(委員)

下松市の消防から注意報で火事になるので焚火等はしないでくださいというメールが届いた。

(委員)

これからは、地震より火事が心配だ。

(委員)

今後は、警報が出ているので、どんどん焼きも行うかどうかを考えるようになる。

(委員)

先程言われたように、行事の時に警察の方が参加してくださるとありがたい。

(委員)

市が防災協定を関係機関と結んでいるという話があったが、現在下松市では44の機関と協定を結んでいると聞いている。

(委員)

これについては、警察署も把握しているか。

(警備課長)

下松市は色々な機関と防災に関して協定を結んでいる。

(委員)

豊井小学校は、土砂崩れがあった時、避難するのは良いが避難先に行く途中で川が氾濫しているなど色々な問題点がある

(委員)

米川も避難先に行く途中、土砂崩れで避難先に行けないなどの問題点がある。

それと、一昨日の朝日新聞に載っていたが、災害対策本部の構成員で女性的人数が0人だったため、反省すべきことについて記事があった。

この記事を見ると、実際あったことの反省でなかなか良いことが書かれていたので、今後地震などがあった時の参考にしていただけたらと思う。

7 配布資料

令和7年度第3回下松警察署協議会資料